



## NEWS RELEASE

報道資料

2010年1月27日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ 経営幹部のマーク・ピントが中国に赴任

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 1月 22 日 (現地時間)、エグゼクティブバイスプレジデントのマーク・ピントが中国・北京に赴任したことを発表しました。ピントは今後、アジアを中心としたエネルギーおよびディスプレイ事業に重点的に取り組むほか、引き続き、アプライド マテリアルズのグローバル CTO (最高技術責任者) ならびにエナジー&エンバイロメンタルソリューションズ (EES) グループ ジェネラルマネージャーの役職も務めます。

ピントが中国に活動拠点を移した理由は、エネルギー、ディスプレイ、半導体の各業界において現地のお客様との関係を一段と深めるためです。アプライド マテリアルズの CTO として、ピントは引き続きさまざまな大学や学術団体と協力し、これらの分野での最先端の技術開発を推進していきます。アプライド マテリアルズは中国でビジネスを開始してから昨年で 25 周年を迎え、さらに先ごろ民間の太陽電池研究施設としては世界最大規模のソーラーテクノロジーセンターを西安にオープンしていますが、今回ピントを派遣することで中国へのコミットメントをいっそう強化します。

アプライド マテリアルズの会長兼 CEO マイケル・スプリンターは次のように述べています。「ピントが当社の事業地域の中でも最も成長の速い中国に赴任することにより、重要なお客様との距離を縮め、激変するアジア市場のダイナミクスをよりよく理解することができます。この戦略的な一手を通じて、当社はソーラーやディスプレイ業界での立場を今後いっそう強固にし、中国での動向をより敏感に察知することができます」

近年の中国における GDP 成長と経済の発展はめざましく、エネルギー需要も世界各国を上回るペースで伸びています。その結果、省エネ技術、エネルギー変換、再生可能エネルギーなどへの取り組みが中国全体の課題としてクローズアップされています。さらに中国は先ごろ、GDP 当たりの二酸化炭素の排出量を 2020 年までに 2005 年比で 40-45%削減する目標を設定しました。中国がクリーンで再生可能なエネルギーへの需要を満たし、さらなる経済成長の牽引力を生み出すには、ソーラー技術の利用が不可欠です。この目標を達成するには、ピーク時のエネルギー需要にも対応できる数十ないし数百メガワット級の大規模ソーラーファームを多数設置して、経済成長を支えていく必要があります。

ピントは次のように述べています。「中国におけるソーラーパネルの生産量は、2007年には全世界の5%でしたが、2009年には40%を超えています。国内の太陽エネルギー消費量も、2007年の20メガワットから2010年には1ギガワットに急増すると予想されています。中国がこうして再生エネルギー分野の開発をリードする中で、アプライド マテリアルズは中国政府や地方自治体、ソーラーメーカーの取り組みを支援し、ソーラー産業の育成、ソーラー電力の低コスト化に貢献したいと考えています」

西安にあるアプライド マテリアルズのソーラーテクノロジーセンターは、新しいソーラー技術の実用化を支援するとともに、ソーラー電力の大規模供給を目指すメーカーや電力会社、地域社会をサポートしていきます。

「中国は、LEDやLow-Eガラスなどの省エネ技術、電気自動車といった分野でもリーダーシップを発揮すると見られています。これらはいずれも先進的なナノマニュファクチャリング技術が鍵を握る分野です。さらに中国では、液晶テレビの国内需要が2009年に倍増して約2,700万台に達するなどディスプレイ市場も大きく伸びており、2010年には北米を抜いて世界最大の液晶テレビ市場になると予想されています」とピントは述べています。

ピントは2004年1月にシニアバイスプレジデントとしてアプライド マテリアルズに入社し、ソーラーおよびLED照明事業への取り組みを進めました。その結果2007年8月にEESグループが設立され、以来ピントはそのジェネラルマネージャーを務めています。アプライド マテリアルズに入社する以前は、ベル研究所のリサーチ部門（後にルーセント社のマイクロエレクトロニクスグループ）に19年間在籍し、IC技術、オプトエレクトロニクス、ネットワーク製品のデザインなどの研究開発と統括に携わってきました。スタンフォード大学で電気工学の博士号を取得しています。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供するNanomanufacturing Technology™ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*

このリリースは1月22日中国・北京においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は1979年10月に設立。大阪支店ほか12のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

投資家関係:

Applied Materials, Inc.

インベスターリレーションズ: 矢野 悦子 (Tel: +1-408-986-2646)

etsuko\_joslen@amat.com

メディア関係:

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室: 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>

---